

特集

世界レベルの スポーツが横浜に！

横浜では今年、次々に世界大会が開催されます。
トップレベルの競技を間近で観戦できる、またとないチャンスです！



リレー競技の国際競技大会 IAAF世界リレー2019横浜大会

YUTAKA/アフロスポーツ/日本陸上競技連盟

開催日程	5月11日(土)、12日(日)
会場	横浜国際総合競技場 (日産スタジアム)
実施種目 (予定)	4×100mリレー(男、女) 4×200mリレー(男、女) 4×400mリレー(男、女、混合) シャトルハードル(混合) 2×2×400mリレー(混合)
URL	https://iaafworldrelays.com/yokohama2019/ Webサイトはこちら 

「世界リレー」の第4回大会が、5月に日本で初めて横浜で開催されます。この大会は、9月～10月に開催予定のドーハ世界選手権への出場権がかかった大会です。また、世界選手権の上位8カ国は、東京2020オリンピックの出場権を獲得することができます。東京2020オリンピックで金メダルを目指す日本代表をはじめ、世界のトップアスリートが横浜に集結し、熱い戦いを繰り広げます。



YUTAKA/アフロスポーツ/日本陸上競技連盟

「世界リレーとは」

国際陸上競技連盟(以下IAAF)が主催するリレー競技だけを行う国際競技会で、陸上競技の普及とリレー種目の魅力を世界にアピールすることを目的に2014年に新設されました。IAAFが主催大会を新規に創設するのは、1999年の世界ユース陸上競技選手権大会以来15年振りで、競技会の価値はIAAF主催競技会の中でもトップクラスに位置付けられています。

オリンピックに聞く レースの見どころ！

IAAF世界リレーは、国際陸上競技連盟が主催するリレー世界一を決める大会で、日本は第2回大会、男子4×100mリレーで銅メダルを獲得しています。今大会のライバルはジャマイカ、アメリカ、イギリスで、さらに中国も力があり、メダル争いは熾烈を極めます。ほかにも4×400mリレーや男女混合のミックスリレーなどが開催され、入賞国には世界選手権への参加資格が与えられます。横浜の地で世界の一流スプリンターが国の威信をかけて疾走します。ぜひご覧になってください！



菊部 俊二

1969年5月8日生まれ、横浜市南区出身。元オリンピック陸上競技選手(1996年アトランタ五輪、2000年シドニー五輪出場)現在は、法政大学スポーツ健康学部教授、日本陸上競技連盟リレー戦略担当



ITU
WORLD TRIATHLON
YOKOHAMA

ITU世界トライアスロンシリーズ ITU世界パラトライアスロンシリーズ

©Shugo TAKEMI

開催日程	2019年5月18日(土) エリートパラトライアスロン/エリート 2019年5月19日(日) エイジ(一般) ・スタンダードディスタンス ・スプリントディスタンス ・エイジパラトライアスロン ・リレー
会場	山下公園周辺特設会場 (山下公園スタート・フィニッシュ)
スタート 時間(予定)	パラトライアスロン 6:50~ エリート女子 10:16~ エリート男子 13:06~
URL	https://yokohamatriathlon.jp/wts/

Webサイトはこちら



ありがとうございます、10年の感謝を未来に
「ITU世界トライアスロンシリーズ WTS」は、オリンピックを目指す各国の代表選手が世界を転戦しながらポイントを獲得し、年間のチャンピオンを決定するシリーズ戦です。トライアスロンはスイム・バイク・ランの三種目の総合力で競われるオリンピック正式競技です。競技は主にスイム1.5km、バイク40km、ラン10kmで争われます。

横浜では2009年に開港150周年記念事業として開催され、2019年で10回の節目を迎えます。

また、WTSと同日の18日に行われるパラトライアスロン競技は、2016年のリオパラリンピックで正式競技となり、2017年に「ITU世界パラトライアスロンシリーズ(WPS)」が誕生しました。横浜はアジアで唯一の開催国で、オリンピック・パラリンピックへの出場ポイントを獲得するための重要な位置付けとなっています。

エリート大会の見どころ！



ラグビー ワールドカップ 2019™

特集1



夏季オリンピック、FIFAワールドカップと並び、世界三大スポーツイベントの一つと言われるラグビーワールドカップが日本(アジア)で初開催され、横浜では決勝・準決勝を含む7試合が繰り広げられます。

そこで今月号から大会期間中までの全4回、特集を組んで、意外と知られていないラグビーのルールや、ラグビーワールドカップ2019の楽しみ方をお伝えしていきます。

3つのスゴイところ



1 カ月を超える長期開催!

大会期間中(9月20日~11月2日)は日本がラグビーワールドカップ一色に!



2 横浜の対戦カードが超豪華!

大会2連覇中のNZ代表戦や日本代表戦に加え、決勝・準決勝が開催!



3 圧倒的な大会の規模!

前回大会、TV視聴者数(推定)は40億人を超え、日本対サモア戦の日本での観戦者は人口の20%に匹敵!

日本代表戦の見どころ

日本代表は9月20日にロシア代表と開幕試合を行う。また同じプールAには決勝トーナメント常連のアイルランド代表とスコットランド代表が。両チームをどう攻略するかが、決勝トーナメント進出へのカギとなる。

大会概要

開催期間:

2019年9月20日(金)~11月2日(土)

試合会場:

日本全国12会場
(神奈川県・横浜市:横浜国際総合競技場)

試合形式:

1. プール

2. 決勝トーナメント

参加チーム:20チーム

5チーム×4プール(プール内総当たり戦):40試合
準々決勝/準決勝/3位決定戦/決勝:8試合

プールA
アイルランド
スコットランド
日本
ロシア
サモア

プールB
ニュージーランド
南アフリカ
イタリア
ナミビア
カナダ

プールC
イングランド
フランス
アルゼンチン
アメリカ
トンガ

プールD
オーストラリア
ウェールズ
ジョージア
フィジー
ウルグアイ

チケット情報はこちら

ラグビーワールドカップ 検索

Web
サイトは
こちら

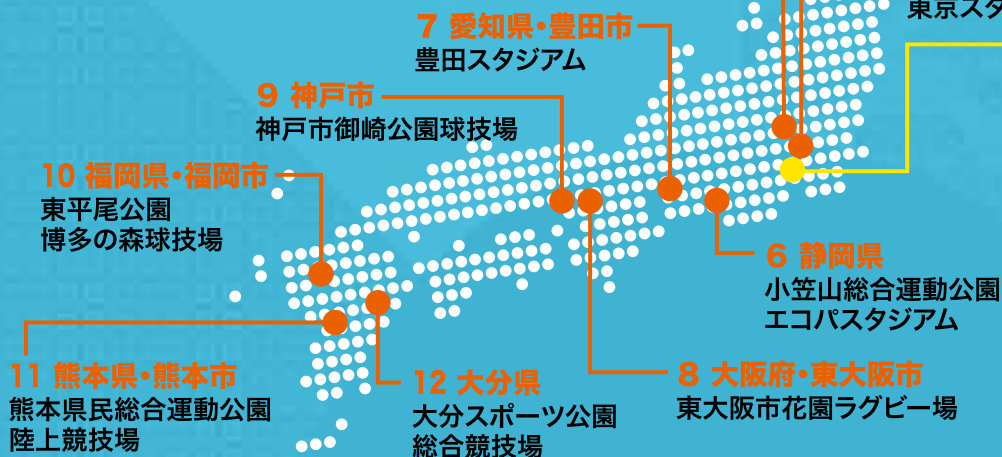


日本全国の 12会場で開催

日本全国12会場で44日間にわたって大会は開催されます。横浜では決勝・準決勝が開催され、世界中の目が横浜に向けられます。

また、大会期間中は多くの外国人旅行者が日本に来ると予想されています。

もしかしたらこの大会がきっかけで横浜を好きになってくれる方がいるかもしれませんね。



5 神奈川県・横浜市 横浜国際総合競技場



横浜で開催される7試合

9月21日(土)
ニュージーランド v 南アフリカ

9月22日(日)
アイルランド v スコットランド

10月12日(土)
イングランド v フランス

10月13日(日)
日本 v スコットランド

10月26日(土)・10月27日(日)
準決勝1・準決勝2

11月2日(土)
決勝

大会公式マスコット 「レンジー」の豆知識

日本古来の連獅子や獅子舞にも似ており、顔がラグビーボール型になっていることが特徴の大会公式マスコットの「レンジー」。ラグビー精神を日本中、世界中に広めて大会を更に盛り上げるために、日本中、世界中で活躍しており、最近、テレビで見かけることも増えてきました。

そんな彼ら、よく間違われますが、兄弟ではありません。彼らは親子です。ちなみに白いほうが親の「レン」、赤いほうが子の「ジー」です。もし周囲に間違えている方がいたらこっそり教えてあげてください。

レン [Ren]



Ren's Profile

- 「レン」は「ジー」の親であり、チームプレーを大事にし、恐れずに前に進む姿勢とフェアプレーが大好き。



ジー [G]

G's Profile

「ジー」は「レン」の子どもであり、好きなものはラグビー選手の闘志あふれるプレーと観客の大歓声。

Webサイト 「横浜ラグビー情報」 配信中!

市・県が運営するWebサイト。県主催のイベント情報やラグビーの見どころを発信中。イベントでは入場無料のパブリックビューイングや数量限定グッズの配布も。市内・県内の身近なラグビー関連情報も併せて配信中。チェックしてラグビーに詳しくなろう!

横浜ラグビー情報

検索

